

(2) ボランティア活動の推進

実施主体	取り組み内容
地域住民	ボランティアセンターへの各種相談 ボランティア活動への参加 ボランティア登録 ボランティア活動保険への加入
地区社協 自治会	地域資源の発掘 ボランティアニーズと担い手のマッチング
萩市社協	ボランティアコーディネーターの配置 萩市ボランティアセンターの周知と活動の充実 萩市ボランティアセンターからの情報発信

地域の福祉活動を長続きさせるコツは、「無理をせず、できる人が、できることをする」ということが大切です。



地域では少子高齢化による担い手が不足しています。

本会では、情報提供を通じて地域福祉の担い手の確保を行います。また、研修会への参加機会を増やし、新たな人材の育成に努めます。



(3) 地区社協設置推進育成事業

実施主体	取り組み内容
地域住民	地区社協の福祉研修・イベントなど積極的な参加 身近な相談窓口
地区社協 自治会	小地域福祉活動計画の策定 地区社協を拠点とした地域福祉課題解決への取り組み 地区における福祉意識高揚のための研修会の開催
萩市社協	地区社協の拠点整備と事務局の設置など活動基盤強化への取り組み 地区社協未設置地区の設立検討と準備委員会の開催 萩市地区社会福祉協議会連絡協議会への支援と萩市への提言 人材育成研修会の開催

萩市には、おおむね小学校区単位とする地区社協が15地区あります。

地区社協は、地域の特性を生かし地域の福祉イベントや支え合う仕組みづくりを実施しています。地域住民が主体的に地域の生活福祉課題を話し合い、解決に向けてみんなで考え、行動に移すとともに萩市社協と連携して地域の福祉活動の拠点となっています。

(3) 地域福祉の担い手・人材の育成

実施主体	取り組み内容
地域住民	福祉講座への参加
地区社協 自治会	住民福祉講座の開催 担い手人材の発掘
萩市社協	担い手の育成・支援 地域公益活動推進協議会の運営支援

(4) 住民主体の地域づくり

実施主体	取り組み内容
地域住民	生活福祉課題を抱える人の発見 ボランティアとして協力
地区社協 自治会	生活福祉課題を抱える人と、それを支えるボランティアのマッチング 町内会福祉部活動 ボランティアの発掘と育成
萩市社協	地域ささえあい協議体のコーディネート 住民主体サービス団体への支援 ささえあい協議体未設置地区への設置検討 町内会福祉部への支援 住民主体サービス担い手研修会の開催 関係機関との連携強化

現在、地域ささえあい協議体が19地区に設置され、生活福祉課題を解決するしくみづくりや、高齢者などのつどいの場づくりを行うため、地域住民と関係機関とが連携・協働し、話し合う場を定期的に開催しています。



近年、各地で自然災害が続き、地域での防災意識は高まっています。集落や町内会単位で組織する「自主防災組織」の活動も少しずつ増え、避難訓練や連絡網の整備など地域でできることを工夫されています。

基本目標3 支えあい安心して暮らせる「地域のしくみづくり」

(1) 相談体制の充実

実施主体	取り組み内容
地域住民	ご近所の困りごとを身近な相談窓口につなぐ 相談窓口の把握
地区社協 自治会	民生委員・児童委員や福祉員との連携による相談体制の形成
萩市社協	心配ごと相談窓口の充実 心配ごと相談員研修会の開催 多機関、他職種と地区社協などとの協働した相談体制の構築 社協だよりやホームページを活用した情報発信の推進

本会では、子育てや高齢者の介護、障がい者の生活、生きがいづくり、仲間づくり、地域活動など生活全般に関わるあらゆる困りごとの相談を受け付けます。

最近、通帳や年金証書をどこにしまったか忘れてしまう…?



不安や悩みごとを抱えていても、障がいがあっても、高齢になっても、誰もが住み慣れた地域で、安心して生活できるよう福祉サービス利用援助事業を行っています。



(5) 災害時の助け合い強化

実施主体	取り組み内容
地域住民	話し合いの場への参加 避難訓練への参加
地区社協 自治会	平時からの「つながりづくり」
萩市社協	日頃の見守り活動や支えあい活動を活かした災害支援への取り組み 災害ボランティア活動及び災害ボランティアセンターの理解促進と周知 災害ボランティアスタッフ登録と育成

社会福祉に関するご相談、ご質問は萩市社会福祉協議会にお気軽にお寄せください。

萩市地域福祉活動計画【概要版】

令和3年3月

社会福祉法人 萩市社会福祉協議会

〒758-0041 萩市大字江向510番地

TEL 0838-22-2289 FAX 0838-22-2026

Email anshin@hagi-shakyo.or.jp



ご縁ちゃん



赤い羽根萩にゃん。

萩市地域福祉活動計画は、赤い羽根共同募金の助成金により作成しています。

萩市地域福祉活動計画

～ 住みなれた地域で安心して暮らしたい ～

令和3年度～令和5年度

概要版



◇ 社会福祉協議会（社協）について ◇

社会福祉協議会とは、「地域社会において民間の自主的な福祉活動の中核となり、住民の参加する福祉活動を推進し、保健福祉上の諸問題を地域社会の計画的・協働的努力によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利団体で、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命とする組織」です。社会福祉法においても、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されています。

萩市社協は、「相談支援事業」や「地域福祉活動」、「ボランティア活動」など、地域共生社会の実現に向けた地域づくりに取り組んでいます。

社会福祉法人 萩市社会福祉協議会

計画策定の背景と趣旨

近年、急速に進む少子高齢・人口減少により、地域の社会経済の担い手の減少や地域の活力、持続可能性を脅かしています。

また、高齢化や単身世帯の増加、社会的孤立などの影響により、人々が暮らしていくうえでの課題は、様々な分野の課題が「複雑化」し、個人や世帯において複数の分野にまたがる課題を抱えるなど「複合化」しています。

このような中で、人々の暮らしの変化や社会構造の変化を踏まえ、人々が様々な地域生活課題を抱えながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民が支えあい、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくっていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた体制整備などが進められています。

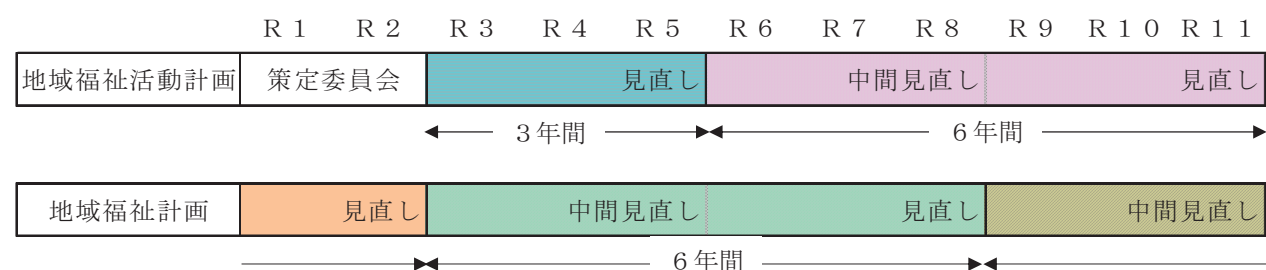
萩市社会福祉協議会では、萩市における地域福祉を推進していくため、地区社会福祉協議会、町内会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体、行政などの関係機関と連携・協働して福祉活動を展開してきました。

この計画は、地域に住む人が相互に支えあい、誰もが住み慣れた地域で心豊かに安心して生活を送ることができる地域共生社会の実現に向けて、萩市に暮らす一人ひとりが、地域社会を担う一員として、住民みんなで「福祉のまちづくり」を進めていくための行動計画です。

計画の期間

この計画の期間は、令和3年度から令和5年度までの3か年とします。また、変化する社会情勢や地域課題への対応、他計画との整合性を図るため、期間内であっても必要に応じて随時見直しを行い、次の計画につなげていきます。

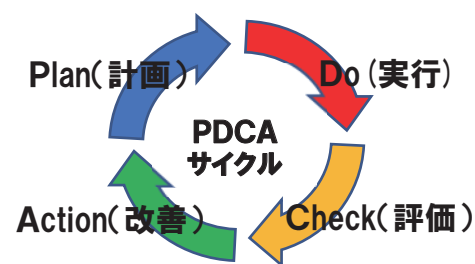
なお、萩市地域福祉計画の期間は、令和3年度から令和8年度までの6か年となっています。



計画の進行管理

毎年度、PDCAサイクルによる各事業の進行管理に努めます。

具体的には、計画の進捗状況をまとめたうえで地域社会を取り巻く環境の変化や法改正に伴う各種制度の変更などの状況に応じて、必要な場合は個別施策の改善・新規事業実施を図り、次年度の施策を計画し実行します。



基本理念と体系図・基本目標

基本理念・基本目標・活動目標

基本理念

住みたい地域で誰もが安心して心豊かにその人らしく暮らし続けることのできる地域づくり

【基本目標】

関係づくり

つどいの場づくり

見守り体制づくり

民生委員・児童委員福祉員との連携

人づくり

福祉学習の推進

ボランティア活動の推進

地域福祉の担い手人材の育成

地域のしくみづくり

相談体制の充実

福祉サービスの提供

地区社協設置推進事業

住民主体の地域づくり

災害時の助け合い強化



住みたい地域で	住み続けたいと思う日常生活圏域の、それぞれにとっての生活の場
誰もが	生活を営むすべての人々が
安心して	お互いに助け合い、支え合える関係もち
心豊かに	人と人とのつながりを大切にし、生きがいをもって
その人らしく	障がいや病気があっても自分らしさを失うことなく
暮らし続けることのできる	自己選択により、自分らしく生活を続けることができる
地域づくり	一人ひとりが主体的にかかわる「福祉コミュニティ」づくりをすすめる

基本目標1 お互いの顔が見える「関係づくり」

(1) つどいの場づくり

実施主体	取り組み内容
地域住民	ふれあい・いきいきサロンへの声かけ つどいの場への参加とご近所への声かけ 担い手としての協力
地区社協 自治会	つどいの場の運営、協力 担い手の発掘と育成
萩市社協	地域におけるつどいの場づくりの推進と運営支援 子どもから高齢者、障がい者まで、誰もがいきいきと活躍できる場づくりの推進 担い手の育成支援

(2) 見守り体制づくり

実施主体	取り組み内容
地域住民	ご近所の声かけ・見守り、子どもの見守り隊などご近所力の強化
地区社協 自治会	地域の情報共有の場づくり 地域のつながりの強化
萩市社協	地区社協や自治会、各種団体との連携した見守りネットワークの構築 関係機関や専門職との連携強化

(3) 民生委員・児童委員、福祉員との連携

実施主体	取り組み内容
地域住民	福祉員の役割についての理解
地区社協 自治会	福祉員推薦（民生委員・児童委員）
萩市社協	地域における地域包括ケアシステムの連携強化

基本目標2 地域の支えあいを担う「人づくり」

(1) 福祉学習の推進

実施主体	取り組み内容
地域住民	様々な福祉講座への参加 学校における福祉教育体験学習サポーターとしての活動
地区社協 自治会	子どもから高齢者までの福祉教育の推進 住民福祉講座の開催
萩市社協	様々な福祉講座の開催 学校と地域と社協が連携した福祉教育の支援 地域福祉活動の担い手、リーダーの育成

現在、ふれあい・いきいきサロンは、89か所、住民主体で行う通所型サービスBは、22通りです。担い手の負担が大きく今後の運営に不安があります。



地域のつながりを強化し、身近な地域で助け合い、支え合う関係づくりを支援します。民生委員・児童委員と福祉員の連携した活動を行います。



地域住民の福祉意識の高揚を図るため「住民福祉講座」を開催します。学校における福祉教育の推進を行います。

